

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年2月10日(2025.2.10)

【公開番号】特開2023-116192(P2023-116192A)

【公開日】令和5年8月22日(2023.8.22)

【年通号数】公開公報(特許)2023-157

【出願番号】特願2022-18851(P2022-18851)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月31日(2025.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、遊技を実行可能な遊技機において、遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、計数値に基づく所定条件の成立によって遊技を実行できない遊技不可状態を発生可能な遊技停止手段と、遊技者による操作可能な位置にあって当該遊技機の音量調整の操作を受付可能な第1音量調整手段と、遊技者による操作不能な位置にあって当該遊技機の音量調整の操作を受付可能な第2音量調整手段と、を備え、第1音量調整手段は、遊技不可状態において音量調整の操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にせず、第2音量調整手段は、遊技不可状態において音量調整の操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にする。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を実行可能な遊技機において、遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、前記計数値に基づく所定条件の成立によって前記遊技を実行できない遊技不可状態を発生可能な遊技停止手段と、

遊技者による操作可能な位置にあって当該遊技機の音量調整の操作を受付可能な第1音量調整手段と、

遊技者による操作不能な位置にあって当該遊技機の音量調整の操作を受付可能な第2音量調整手段と、を備え、

前記第1音量調整手段は、前記遊技不可状態において音量調整の操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にせず、

前記第2音量調整手段は、前記遊技不可状態において音量調整の操作があった場合に当該

40

50

遊技機の音量調整を実行可能にする、  
遊技機。

10

20

30

40

50